

2006年度

## 英米文学科 卒業論文題目一覧

- 反 町 めぐみ *The Collection* 研究—言葉の多義性と裏側にあるもの—
- 畑 澤 朋 子 『風と共に去りぬ』と女性たち—アメリカ南部から日本へ—
- 阿 部 智 彦 ウィリアム・モリスの理想形成の過程と『ユートピアだより』の指摘について
- 荒 木 慎太郎 『じゃじゃ馬ならし』の特異性から検証する真の人間性
- 植 松 良 平 魅力的詩人 フロスト—“The Road Not Taken”と“Stopping by Woods on a Snowy Evening”の世界—
- 内 山 奈 月 イギリスと日本における自己と他者の在り方と教育の影響—R.キプリングと宮沢賢治の詩の比較から—
- 大 西 寿 明 失われたアイデンティティを求めて—*Brideshead Revisited* における語られる記憶と空間—
- 岡 本 広 毅 18世紀の英語観—スウィフトの現実とエルストブの過去—
- 梶 真 子 『ハムレット』を悲劇足らしめるもの—オフィーリアが果たす役割—
- 亀 田 絵 美 『ハックルベリー・フィンの冒険』論—白人少年Huckと黒人奴隸Jim—
- 川 満 達 也 敗北の肯定観に潜む卑屈と「八月十五夜の茶屋」
- 菅 野 篤 日・米文学におけるボクシング観の比較
- 岸 裕 史 Roger McGough 夢想家が描く新しい世界
- 木 伏 英 貴 道徳書としてのホーソーンの短編小説—現代社会に今尚響くホーソーンの声—
- 小 林 真由子 「ちびくろサンボ」は復活するか—アフリカンアメリカンのアイデンティティ確立が握る復活の鍵—
- 齋 藤 春 奈 戦略としての自伝—リチャード・ライトが*Black Boy*を通して伝えたかったこと—
- 三文字 芙 美 黒人奴隸と信仰—ハリエット・ビーチャー・ストウを通して
- 鈴 木 史 彦 Walt Whitman—言葉の裏側にあるメッセージ—
- 鈴 木 理 絵 黒人音楽の流れ—“folk”の力で“miracle”に発生した“Spirituals”—
- 田井中 亮 現代英語への道—外面史・内面史—

- 高 梨 彩 The Inheritance of Black Anger and Hope in August  
Wilson's Series of Plays
- 田 邊 美 里 *M was I ere I saw M*—『ミリアム』にみる分身のモチーフ—
- 田 村 幸 子 アメリカ映画における女性像の変遷
- 中 井 綾 子 境界への挑戦—*Twelfth Night*におけるViolaの内なる異性—
- 夏 井 彩 ジュリエットの最期に見る男性性と女性性
- 廣 井 綾 乃 自分を語るための他者—シルヴィア・プラスの詩を用いて—
- 柳 町 紗 希 イギリス近代を生きた女性達—映画『いつか晴れた日に』と『ジェイン・エア』—
- 矢 沼 豊 妖精とともに歩んできた詩人イェイツ
- 吉 田 大 和 映画から見る1970年代のアメリカ
- 渡 辺 志 保 アメリカ表象文化における黒人のステレオタイプとその変化について
- 藤 江 優 黒人の自由とは—それぞれの答え—

### 英米文学専攻 修士論文題目一覧

- 大 森 幸 恵 Reading "A Rose for Emily" from a Religious Point of View
- 楠 生 陽 香 Problems of the Resurrection in Poe's Tales: A Syntagmatic Study on "Ligeia," "Morella," and "Eleonora"
- 河 東 朝 子 The Ideal Construction of Pleasure: The Structure of the Poetry of William Carlos Williams
- 丸 山 夏 葉 Dilemma Projected in Henry James's *The Wings of the Dove*
- 石 川 千 咲 "Who Wants It, Romantic Love?": Voice and Resistance in Toni Morrison's *Tar Baby*
- 大 野 友 也 The Positive Qualities of the Invisible Man: Reconsidering Ellison's Images of Racial Stereotypes and Fraternity
- 加 藤 誠 章 Philological Attempts in the 19th Century to Make the History of the English Language
- 瀧 澤 典 子 A Study of *Adventures of Huckleberry Finn*: Huck Finn's Long Journey to "Home"

- 武井 研一 The Emblems on the Scales: A Symbolical Pattern in *The Winter's Tale*
- 松崎 武志 A Reconsideration of the Historical Present in *Sir Gawain and the Green Knight*: A New Approach to the Description of the Passing of the Seasons
- 飯塚 良樹 *The Scarlet Letter*: Interpreting the Actions of Hester, Dimmesdale and Chillingworth "Freeing" Themselves from Ordeals as a Mistake
- 板村 あゆ美 A Mingled Yarn: The Function of Elements of Magic in *All's Well That Ends Well*
- 唐戸 信嘉 Two Antinomic Aspects of Houses in Elizabeth Bowen's Work
- 小林 正和 *The Old Man and the Sea* as a Folktale
- 高橋 美紀子 From Sense to Imagination: A Study of Wordsworth's Transcendentalism
- 高橋 洋乙 A Study of *Hamlet*: On It's Hero's Characterization

## 英米文学科/専修・立教英米文学会 活動報告

### 立教英米文学会

2006年12月2日

<講演会>

海老澤 豊 (新潟産業大学助教授)

十八世紀英国の農耕詩を読む

若島 正 (京都大学教授)

ナボコフと自由間接話法

### 公開講演会

2006年6月10日

谷川 俊太郎 (詩人)

詩を読み、語る

共催：日本現代英米詩学会